

社会で活躍する人財を育成する



2016 実践講座レポート

実践講座 -企業や行政、団体との協働プロジェクトを通じて、社会で活躍するために必要な知識やスキル・仕事のノウハウを学ぶ！

起業、行政、団体等と協働した実践型プロジェクト活動 / 月2回+a

●対象・受講料

阪神地域 22 大学・短期大学の学生

基礎講座 + 実践講座 … 3,500 円

●講座のねらい

企業や行政、団体との協働プロジェクトを行う中で、協働する社会人から仕事のノウハウや社会に必要な知識やノウハウを身に付ける。また、複数の異なる大学・専攻の学生が集まり 1 つのプランをつくりあげることを通して（場合によっては実施）、合意形成の過程を経験することで、社会人として必要なチカラを身に付けることをめざす。

●講座

- | | |
|--------------------------|--------------------|
| ①商店街プロジェクトコース | (連携団体：西宮中央商店街振興組合) |
| ②西宮観光プロモーションコース | (連携団体：西宮観光協会) |
| ③地域資源を活用したソーシャルビジネス育成コース | (連携団体：日本政策金融公庫) |
| ④イベントプロデュースコース | (兵庫県阪神南県民センター) |

●ミッション

地域を巻き込み、より多くの方に商店街を知ってもらえる仕組みを企画、実施し、さらに地域と連携した愛着ある商店街とする。

●活動概要

西宮中央商店街と協働で、商店街の街路灯に飾る“タペストリー”のデザインを、公募するプロジェクトを実施した。

商店街の理事の方と協議をしながら週に1回のミーティングを重ね、学生たちが中心になって、募集要項の作成、チラシ・ポスターのデザイン・制作、広報の計画、審査の企画準備などを全て行った。

中でも、地元の子どもを持つ主婦層や大学生などの若い世代に向けた広報に力を入れ、大学生が関わったプロジェクトならではのSNSを使った広報や大学での広報等を行った。その結果、地元の高中生や大学生、若い主婦層からの応募もたくさんあり、かつデザインとしても本格的な魅力的な作品の応募が多数あった。

9-10月	西宮中央商店街を知る、コンセプトの企画、募集要項の作成、審査方法の企画
11-12月	チラシ・ポスターのデザイン・製作、広報の企画
1-2月(1/1-2/15)	応募開始(広報実施)、チラシ・ポスターの配布、SNSでの広報
2月	1次審査の準備、1次審査会(2/24 商店街理事&まち大学生)の実施
3月	2次審査の準備、2次審査(3/13-3/22 商店街で実施)、審査結果発表(SNSで) ※表彰式は7/20 西宮中央商店街イベント“万灯籠”で

●活動成果

応募件数：113件 一般の部：101件 ちびっこの部(小学生以下)：12件

学生が協働したことにより、SNSと口コミによる広報に力を入れることができ、若い世代の応募が多くあった。

10代17件(16.8%)、20代20件(19.8%)、30代31件(30.7%)、40代2件(2.0%)、50代11件(10.9%)、
60代9件(8.9%)、70代2件(2.0%)、80代4件(4.0%)、不明5件(4.9%)
高校・大学生26件(25.7%)

●ミーティング

9月25日(日)	19:00-21:00	12月8日(木)	19:00-21:00
10月6日(木)	19:00-21:00	12月15日(木)	19:00-21:00
10月16日(日)	17:30-19:00	12月22日(木)	19:00-21:00
10月20日(木)	19:00-21:00	12月28日(水)	13:00-15:00
10月27日(木)	19:00-21:00	1月5日(木)	12:00-14:00
11月10日(木)	19:00-21:00	1月12日(木)	19:00-21:00
11月17日(木)	19:00-21:00	1月26日(木)	19:00-21:00
11月24日(木)	19:00-21:00	2月17日(金)	17:00-21:00
12月1日(木)	19:00-21:00	2月24日(金)	14:00-16:00
12月3日(土)	13:00-18:45	3月4日(土)	10:30-12:00
	阪神つながり交流祭	3月16日(木)	14:00-16:00

タペストリーデザイン1次選考会

●活動の様子
»ミーティング



»1次選考会



②西宮観光プロモーションコース 阪神まち大学 × 西宮観光協会

●ミッション

「みやスタグラム」を発展させ、より多くの人に関わってもらえる仕組みを検討、提案し、若年層に向けた観光情報発信を強化、充実する。

●活動概要

西宮観光協会と連携して、SNS（Instagram-アカウント：みやスタグラム）を使って、西宮の魅力を発信する活動を行った。

活動当初は、フォロワー目標 1,000 をめざして、コースの学生自身が魅力的だと思うポイントを「#みやスタグラム」を付けて発信した。活動途中から、他のユーザーにも「#みやスタグラム」を付けて投稿してもらい、自分たちを介さずに「#みやスタグラム」を付けて西宮の魅力を発信するムーブメントをつくることに取り組んだ。そこで、「～みんなで西宮のアルバムをつくろう！～お気にしのみや インスタグラム展」と題し、西宮の「グルメ」「自然」「オブジェ・建物」「駅」「みやたん」をテーマに、「#みやスタグラム」と「#お気にしのみや」をつけて投稿してもらったイベントを Instagram 上で行った。

11-12月 「#みやスタグラム」の投稿を増やすために自分たちで投稿

1-2月 最終イベントの企画

2-3月（2/23-3/13）「～みんなで西宮のアルバムをつくろう！～お気にしのみや インスタグラム展」開催

●活動成果

Instagram アカウント：みやスタグラム

投稿数：178件 フォロワー：408人 （2017.03.20時点）

#みやスタグラムの投稿数：1,086件

またイベントを通じて、他のユーザーが知り合いのユーザーに「#みやスタグラム」「#お気にしのみや」を付けて投稿することを呼び掛けるということが出てきた。これは、「#みやスタグラム」が西宮の魅力を気軽に発信できるプラットフォームになり、西宮の魅力を発信する緩やかなファンづくりにつながったと考える。

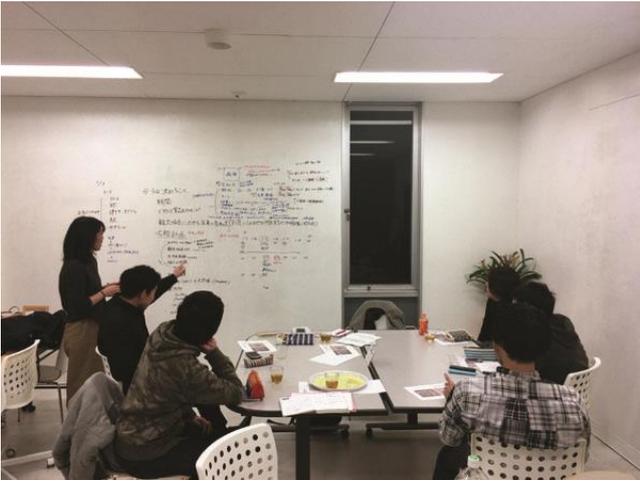
「～みんなで西宮のアルバムをつくろう！～お気にしのみや インスタグラム展」

開催期間：2/23（木）～3/13（月） #お気にしのみやの投稿数：144件

●ミーティング

9月28日(水)	19:00-21:00		2月8日(水)	19:00-21:00
10月12日(水)	19:00-21:00		2月15日(水)	19:00-21:00
11月2日(水)	19:00-21:00		2月22日(水)	19:00-21:00
11月16日(水)	19:00-21:00		3月8日(水)	19:00-21:00
11月30日(水)	19:00-21:00		3月15日(水)	19:00-21:00
12月3日(土)	13:00-18:45	阪神つながり交流祭	3月22日(水)	19:00-21:00
12月7日(水)	19:00-21:00			
12月21日(水)	19:00-21:00			
1月11日(水)	19:00-21:00			
1月25日(水)	19:00-21:00			

●活動の様子
»ミーティング



»お気にしのみや

お気にしのみや
Instagram展
～ みんなで西宮のアルバムをつくろう! ～

2月23日(木)～3月13日(月)

投稿してほしいテーマ

- グルメ
- 自然
- 建築 オブジェ
- 駅
- みやたん

»みやスタグラム ～みんなで西宮のアルバムをつくろう! 「お気にしのみや」 に投稿された写真



③地域資源を活用したソーシャルビジネス育成コース 阪神まち大学×日本政策金融公庫

●ミッション

阪神地域の地域資源を活用したソーシャルビジネスを企画立案するプロセスを体験することで、事業の組み立てや起業するチカラを養う。

●活動概要

学生が感じる社会課題を基にソーシャルビジネスを考える中で、身近な社会課題・地域課題を学ぶと同時に、日本政策金融公庫の持つ、ソーシャルビジネスの企画立案のノウハウを学ぶプロジェクトを行った。活動当初は、ビジネスを企画立案するためのビジネス手法やノウハウを学んだ。次に、それぞれが身近に感じる社会課題を模索し、その中から“大学生が家から出れない（大学生生活に張り合いが持てない）”というテーマを設定した。そして、この課題を解決する方法として、充実した社会人像を見せ、その社会人の熱心な学生時代の取り組みを見せる動画を配信することで、充実した大学生生活を促す動画サービス「Bright Future」を考えた。

9-10月	ソーシャルビジネスを学ぶ、ビジネス手法やノウハウを学ぶ
11月	ソーシャルビジネスのテーマを設定、ビジネスアイデアを企画
12-1月	ビジネスプランを立案
2-3月	ビジネスプランの提案資料、資金計画の立案
3月(3/24)	ソーシャルビジネス支援ネットワークで活動発表(3/24(金) 16-17時)

●活動成果

この動画配信サービス「Bright Future」では、魅力的な社会人の学業成果に視点を当て、企業のインターンシップ、NPO等での社会活動、バイトや部活などの活動等、学生が目標を持って活動をする姿を見せることで、目標意識を持ち充実した大学生生活を学生に提供することに一番の目的がある。また、もう一つの成果として、NPO等での社会活動を行うことで、社会人基礎力をつけ、社会で活躍する人材になることを見せることができ、NPO等での社会活動の魅力を学生に訴求力のある動画配信でアピールできることにある。これらの社会課題を解決する提案を、西宮のソーシャルビジネスを支援する“ソーシャルビジネス支援ネットワーク(日本政策金融公庫、西宮商工会議所)”にプレゼンテーションした。

●ミーティング

9月27日(火)	19:00-21:00		2月9日(木)	11:00-13:00	
10月14日(金)	19:00-21:00		2月14日(火)	19:00-21:00	
10月26日(水)	19:00-21:00		2月18日(土)	10:00-12:00	
11月11日(金)	19:00-21:00		2月24日(金)	13:30-15:30	
11月25日(金)	19:00-21:00		3月8日(水)	19:00-21:00	
12月3日(土)	13:00-18:45	阪神つながり交流祭	3月14日(火)	19:00-21:00	
12月9日(金)	19:00-21:00		3月20日(月)	17:00-19:00	
1月13日(金)	19:00-21:00		3月24日(金)	16:00-17:00	プレゼンテーション
1月30日(月)	11:00-13:00				
2月2日(木)	19:00-21:00				

●活動の様子
»ミーティング



»考えたビジネスモデル

動画イメージ		BF
質問	アングル	備考
Q.自己紹介をお願いします。(今、どこで何をしているのか)		
Q.学生時代はどのような団体に所属していましたか。 Q.そこで何をしましたか。		※字幕付きで解答 →強固な所を太字・色字
Q.それによって、どのような影響を受けましたか。		
Q.アドバイスとして学生時代にすべきことは?		

資金計画		BF																				
設立資金																						
<table border="1"> <tr> <th>品名</th> <th>単価</th> <th>数量</th> <th>金額</th> </tr> <tr> <td>印刷費</td> <td>24</td> <td>200</td> <td>4,800</td> </tr> <tr> <td>事務用品</td> <td>100</td> <td>100</td> <td>10,000</td> </tr> <tr> <td>その他</td> <td>500</td> <td>10</td> <td>5,000</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td></td> <td></td> <td>19,800</td> </tr> </table>			品名	単価	数量	金額	印刷費	24	200	4,800	事務用品	100	100	10,000	その他	500	10	5,000	合計			19,800
品名	単価	数量	金額																			
印刷費	24	200	4,800																			
事務用品	100	100	10,000																			
その他	500	10	5,000																			
合計			19,800																			
価格設定																						
<table border="1"> <thead> <tr> <th>サービス</th> <th>料金</th> <th>月目標</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>企業プログラムPR動画</td> <td>1万/1件</td> <td>10万/月</td> </tr> <tr> <td>NPOプログラムPR動画</td> <td>0.5万/1件</td> <td>5万/月</td> </tr> <tr> <td>NPO HP 作成</td> <td>10万/1件</td> <td>50万/月</td> </tr> <tr> <td>NPO 広報ツール作成</td> <td>2万/1件</td> <td>5万/月</td> </tr> </tbody> </table>			サービス	料金	月目標	企業プログラムPR動画	1万/1件	10万/月	NPOプログラムPR動画	0.5万/1件	5万/月	NPO HP 作成	10万/1件	50万/月	NPO 広報ツール作成	2万/1件	5万/月					
サービス	料金	月目標																				
企業プログラムPR動画	1万/1件	10万/月																				
NPOプログラムPR動画	0.5万/1件	5万/月																				
NPO HP 作成	10万/1件	50万/月																				
NPO 広報ツール作成	2万/1件	5万/月																				
経費想定																						
<table border="1"> <thead> <tr> <th>サービス</th> <th>料金</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>役員報酬</td> <td>20万/月</td> </tr> <tr> <td>人件費(2人バイト)</td> <td>32万/月</td> </tr> <tr> <td>広告宣伝費</td> <td>10万/月</td> </tr> <tr> <td>通信費</td> <td>2万/月</td> </tr> <tr> <td>交際費などそのほかの費用</td> <td>3万/月</td> </tr> </tbody> </table>			サービス	料金	役員報酬	20万/月	人件費(2人バイト)	32万/月	広告宣伝費	10万/月	通信費	2万/月	交際費などそのほかの費用	3万/月								
サービス	料金																					
役員報酬	20万/月																					
人件費(2人バイト)	32万/月																					
広告宣伝費	10万/月																					
通信費	2万/月																					
交際費などそのほかの費用	3万/月																					

H28年度
阪神まち大学
ソーシャルビジネスコース

BF **家から出れない大学生!?** **BF**

(1) 社会課題の発見

まず私たちは、日本の生活の中に潜む様々な社会課題を考えました。大きな問題から小さな困りごとまで多様な社会課題を挙げていった末に、一つの興味深い社会課題を発見しました。

それは、「家から出れない大学生がいる。」ということです。高校生から大学生へと成長する際には、とてつもない環境の変化が起こります。その変化は人それぞれではありますが、「行動範囲の拡大化」「自由に使える金額の増加」「自由に使える時間の増加」が代表的な例です。すると、大学受験という目標を通過し、自由を持って余った学生は長期的な目標を見失い、自由な時間を浪費していくのです。

この状態が悪化した例として、1日の大学を自宅まで通し、他者とコミュニケーションを取らない生活が生まれ、「外出する気力を失った学生」が生まれるのだと考えました。

(2) 大学生へのヒアリング

先のような考えの元、どの程度が「目標を持たず、時間を浪費している大学生」であるかを調査しました。

Q.あなたは大学生生活で、「目標」を持ってそれを実現する為に行動しましたか?
対象：大学1年生~4年生

A.

① 目標を持っていて、その実現のために行動した。
もしくは行動している。・・・15%

理由：何をすれば目標を達成できるかが分かっていいたから。
→目標達成までのスケジュールを逆算して行動したから。

② 目標は持っていたが、実現できなかった。・・・70%

理由：目標が過ぎた。・・・やる事がなくなった。
→アルバイトを優先しすぎて、目標達成できなかった。

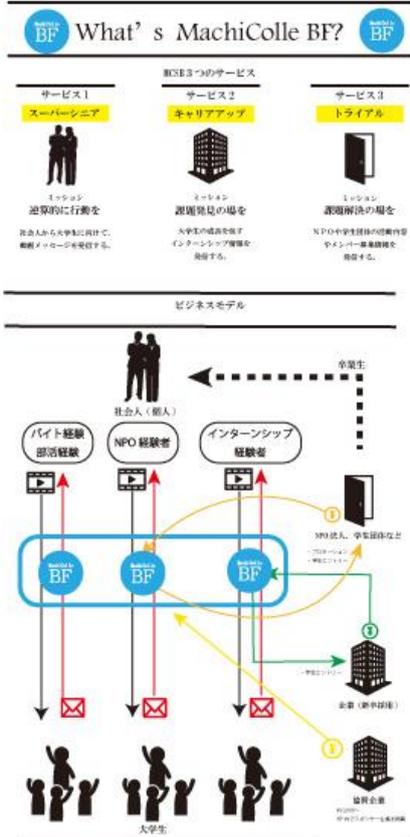
③ 目標を持っておらず、持たないとも思っていない。・・・15%

理由：特に達成すべき目標があるとは思わないから。

(3) 課題設定

この結果から私たちは、大学生の持つ課題に対する2つのミッションを設定しました。

1つ目は、「**大学生の課題発見能力を養う。**」
2つ目は、「**目標達成までの行動を逆算的に考える力を養う。**」



BF **それぞれのメリット** **BF**

大学生

- ① 課題の発見や気づきができる。
- ② 課題と向き合う経験、キャリアを育むことができる。
- ③ 社会人から大学生に向けての知識やノウハウを知ることができる。
- ④ 経験メモリーを継承することができる。
- ⑤ 卒業生のイメージから刺激を受け、今後をすすめることができる。

NPO

- ① 課題を解決して欲しい学生を呼び出すことができる。
- ② 社会人から大学生に向けての知識やノウハウを知ることができる。
- ③ 社会人の社会人の「知」をシェアできる。

社会人

- ① 課題で自身のキャリアを育むことができる。
- ② 社会人の知識やノウハウを継承できる。
- ③ 学生時代に活動した目標を卒業してからも達成することができる。

企業

- ① 企業への期待や課題を学生に共有し、会社を知ってもらう。
- ② 期待や課題を解決した学生は、キャリアアップすることができる。
- ③ インターンシップなど、学生のスキルアップにつながる人材の募集を行う。

もう一つの課題解決

MachiColle BF

1000人、学生団体など

団体名
活動内容
卒業生リスト
エントリー

(1) NPOの課題発見能力

NPOは社会公益活動を行う学生団体・市民団体は、大学生が自分自身を向上させる場所、スキルを磨く場所として、人材を募集する。しかし、それらの目的は目的はホームページやチラシを介して、人材募集や情報発信を行って企業は採用です。NPOは「マッチ」に集まるだけでなく、もっと多くの企業やボランティアを募集する必要があると考えました。

(2) 期待するサービス

- ・ 社内に設置した人材募集ページを維持する。
- ・ 団体の卒業生リストを作成する。
- ・ パフォーマンス、キャリアの活用機会を育成する。

④ イベントプロデュースコース 阪神まち大学 × 兵庫県阪神南県民センター

● ミッション

兵庫県阪神南県民センターが主催する「阪神つながり交流祭」において、大学×地域の連携をさらに促進させるためのプログラムをプロデュースする。

● 活動概要

12月3日（土）に開催する「阪神つながり交流祭 2016in 園田学園女子大学」の企画運営を行うために、まずは事業の枠組みを把握するために、阪神南県民センターの職員の方を交えて、今回のテーマである“大学生×地域連携”について学んだ。そして「大学×地域連携の良さを伝え、学生に興味を持ってもらい、関わる・関わろうとする学生を増やす」という目標を設定し、内容を企画した。

「大学生による地域連携活動報告」では、大学生からの報告だけでなく連携先の地域の方々にもコメントをいただき、大学×地域連携の魅力をさらに伝えるように努めた。また、「テーマ別ディスカッション」では、ディスカッションの内容を普通の大学生の生活にどう影響するか、大学生の特徴をどう活動に生かせるかという、大学生に身近な話題になるように設定した。

また、イベント運営のノウハウについては、事業コーディネーターである NPO 法人コミュニティ事業支援ネットが有するノウハウをレクチャーし、学生が主体となって事前準備から当日運営まで、「阪神つながり交流祭」の全体運営を行った。

9月	阪神南県民センターの職員の方から事業の枠組みをレクチャーしてもらう
10-11月	大学×地域連携を知る、自分たち独自の目標を設定
11月	「テーマ別ディスカッション」を企画
11/25	「阪神つながり交流祭」出演者ミーティングを開催
12/3	「阪神つながり交流祭」を開催

● 活動成果

12月3日（土）に開催した「阪神つながり交流祭 2016in 園田学園女子大学」を企画実施

開催日時：12月3日（土）13:00-18:30

開催場所：園田学園女子大学

● ミーティング

9月21日(水)	19:00-21:00		12月6日(火)
10月11日(火)	19:00-21:00		12月13日(火)
10月18日(火)	19:00-21:00		12月20日(火)
10月25日(火)	19:00-21:00		12月27日(火)
11月1日(火)	19:00-21:00		1月10日(火)
11月8日(火)	19:00-21:00		1月17日(火)
11月16日(水)	19:00-21:00		1月24日(火)
11月22日(火)	19:00-21:00		2月7日(火)
11月24日(木)	11:30-12:30	会場下見	2月14日(火)
11月25日(金)	19:00-20:30	出演者ミーティング	2月28日(火)
11月29日(火)	19:00-21:00		3月14日(火)
12月3日(土)	13:00-18:45	阪神つながり交流祭	3月21日(火)

●活動の様子
»ミーティング



»出演者ミーティング



▶阪神つながり交流祭

開会式



ブースセッション



大学生による地域連会活動の報告



テーマ型ディスカッション（まちづくり）



テーマ型ディスカッション（商店街活性化）



テーマ型ディスカッション（高齢者対策）

